

市長と地域の懇談会【沼木】

・開催日時	令和2年10月14日（水） 19:00～20:00
・まちづくり協議会区域名	沼木まちづくり協議会
・会場	旧沼木中学校特別教室棟（沼木まちづくり協議会活動拠点）
・参加者	18人

《質問・意見》

・自治会は40軒・70名程で40年経過しているが、道路が私有地のため問題が発生している。市に頼みに行っても「私有地なので…」と言われてしまう。最近の大雨等で修繕が必要となっている。所有者は開発時の業者（今は無い）のため、話を持っていくことができない。弁護士によると今後3～5年先には民法「所有者緩和措置」が取られるかもしれない。市道認定するには経費が800～900万円がかかり自治会だけでは費用が不足するため、市にも協力をお願いしたい。

《回答》

・全国にそういった事例があると思われるので、担当者に研究させます。

《質問・意見》

・7/25の大雨で山から土砂崩れが発生し市に対応してもらった。今後も大雨により、土砂で側溝が埋まりやすいので、対応をよろしくお願いしたい。
新型コロナウイルス渦の中、インフルエンザ流行の時期が近づいてきているので、その対応を聞かせてほしい。そのためにうつになる人もいると思われる。

《回答》

・インフルエンザ流行期に向け、保健所を中心としたワクチン・薬剤が大きなテーマとなる。小さな子ども・高齢者には特に配慮していきたい。谷崎 Dr.（市立伊勢総合病院）に広報いせの誌面で連載を依頼している。

保健所や厚労省の情報から言えることは、コロナに対するワクチンや治療薬が出てこないと言えませんが、インフルエンザ同様コロナも変化している。幸いにして小児や若い人は重症化しにくいので、まずは、高齢者や持病をお持ちの方が感染しないようにすることに尽きる。

また、感染症の専門医である伊勢病院の谷崎医師が来月の広報から、コロナ感染予防のコラムを投稿されるので、質問や相談されるといいと思います。

《質問・意見》

・子どもたちが保育園の周りや園庭に畑を作っているが、鹿や猿が侵入し栽培した野菜を食べてしまう。これまでに、柵を設置する等いろいろと対応したが効果がない。また鹿など野生動物にはマダニがいるので、子どもたちに十分注意をしている。農林課にも相談しているが、効果的な対策を講じてほしい。

・これまで地域交流事業において、地域のお年寄りとの交流を深めてきた。今は新型コロナウイルスにより継続が難しくなっているため、オンラインを利用した事業に取り組みたいが、備品（スピーカー）購入費を地域交流事業で賄おうと思ったら備品は対象外と言われた。何とかありませんか？

《回答》

・担当課が農林水産課だけなので全てが対応できていない。こういった対応ができるのか研究したい。

・備品（スピーカー）購入は沼木まちづくり協議会で対応する旨、協議会の意向を説明し了承。

《質問・意見》

・地域の高齢者で『相談に繋がらない人にどう相談を繋げるか？』がいつも悩みどころ。『お医者さんの問題（近くに医院がない）』『交通の問題（交通手段がない）』も相まっている。コミュニティカフェ【沼木の窓】も立ち上げて始めたが、地域だけでは無理。相談窓口の充実等の行政支援をお願いしたい。地域包括やケアマネさんにも相談していますが、近くにないので。

・80歳や90歳といったお年寄りは、文書が届いても一人で読むことができない。支え合い名簿だけではなく、いろいろな形で支え合っていくことが大切である。

《回答》

・そういった窓口（あゆみ）を3年前に八日市場町に設置したが、市内中心地なので利用しにくいことが考えられる。沼木まちづくり協議会と連携し、サロン等を巡回するなどして顔の見える関係づくりをして、電話やリモート相談につないでいくなどの研究をしていきたい。

《質問・意見》

・沼木地区は広いので、3ブロックくらいに分けて意見を聞いて「1年目は〇〇、2年目は□□」とやっていけば意見が出やすい。

・沼木地区は鹿・猿による獣害がひどく、猟友会に獣害対策用檻を設置してもらったが、動物愛護団体から意見等言われる。

・平成16年の大雨被害により、NHKのトップニュースになって以降、円座町の区長は雨が降ると寝ることができない。樋門に水位計を設置してほしい。

《回答》

- ・地区を分ける件は、考えておきます。
- ・動物愛護団体等の活動について、一度調べてみます。
- ・樋門の場所も確認して検討したい。

《質問・意見》

・矢持町内において、土木業者による土砂運搬用ダンプカーが凄いスピードで走っている。危険だし、(土も落としていって) ごみのこともあり、交通安全とごみに対する業者(会社)への指導をお願いしたい。

《回答》

- ・企業活動は地域との共同連携が大切である。業者を調査し話をしたい。

《質問・意見》

・まちづくり協議会活動は沼木中を拠点でき、大変活動がしやすい。市に感謝している。宝くじ助成金の抽選が当たり伊勢市としての候補となったため、沼木まちづくり協議会に200万円の備品がもらえるかもしれない。今後の県の審査で落とされる場合があるので、お力添えをお願いしたい。

《回答》

- ・沼木まちづくり協議会が今以上に発展するよう、できる限り協力していきたい。